

第25回

東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点

SDGS-IDセミナー

社会にインパクトある研究_C3感染症超克 共催

「感染症」×「在宅医療」

「地域のつながりで暮らしと命を守る
-在宅医療の現場から-」

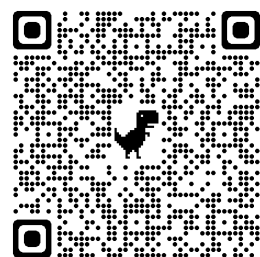
2023年5月19日（金）12:00-13:00

【Zoom】参加無料【言語】日本語

参加登録

登録締切 5月18日（木）15:00迄

<https://forms.gle/aCjLt5EK9bWAjRB6A>



<プログラム>	12:00-12:05	オープニング
	12:05-12:35	講演
	12:35-12:55	質疑・総合討議
	12:55-13:00	ラップアップ

講師紹介

土屋菜歩（PhD, MSc）

医療社団法人やまと やまと在宅診療所栗原 院長

旭川医科大学医学部医学科卒業。山形大学医学部附属病院での臨床研修を経て、長崎大学熱帯医学研究所にてPhD、London School of Hygiene and Tropical Medicineにて疫学修士（MSc）を取得。2013年10月より東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門にて研究・教育に従事（-2020年8月・准教授）
2020年9月、医療社団法人やまと やまと在宅診療所登米に赴任し、在宅医療の現場に活動の拠点を移す。現在、同法人 やまと在宅診療所栗原院長、ならびに東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門（非常勤講師）

講演概要

新型コロナ感染症流行下において、通院困難のため自宅や施設で療養している人たちの暮らしと医療も大きく影響を受けた。在宅診療の現場で何が起こっていたのか、2020年からこれまでのコロナ対応の経験を共有する。地域における行政・医療機関・他事業所との連携の経験は、今後の公衆衛生学的有事にも大いに役立つものである。また、感染症法上の位置づけが5類に変更されることで何が変わるのか、何が必要なのか、在宅診療医の視点から述べてみたい。



東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点（SDGS-ID）

■ 拠点Web : <http://www.sdgs-id.med.tohoku.ac.jp>

■ お問い合わせ : sdgs-id@med.tohoku.ac.jp



東北大学 社会にインパクトある研究 -C3感染症超克

http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/contents/c3_infectious_disease.html